

短期滞在契約書

本契約は、「当事者」欄に記載されたホストとゲストの間で締結され、一時的な宿泊について定めるものです。

1. 宿泊施設と日程

ホストは_____にある宿泊施設（以下「本施設」）を提供します。チェックイン予定は_____、チェックアウト予定は_____です。予約人数は_____名です。追加の宿泊者や訪問者は、法令上の定員、建物の規則、契約前に通知された合理的な制限を守らなければなりません。ホストは合意された施設への立入りと基本設備を提供します。設備、備品、入室方法、ハウスルールは「詳細」や添付資料に記載できます。

2. 料金と支払い

滞在料金の総額は_____です。支払日程、清掃料金、保証金、その他の費用は署名前に合意するものとします。後から通知されたハウスルールだけを根拠として、事前に開示されていない料金を請求できません。保証金は、合法かつ正当な控除を除いて返還します。

3. ゲストの義務

ゲストは本施設を丁寧に使用し、近隣住民や静穏時間に配慮し、事前に示された合法的な定員、安全および建物の規則を守ります。パーティー、商業活動、許可されていない人の利用には、合理的に必要な範囲でホストの承諾を要します。不在時は施錠し、鍵を適切に管理します。損傷、鍵の紛失、危険な状態、重大な設備不良は速やかに通知します。人や財産を守るための合理的な緊急措置を除き、大きな修理や変更には承諾が必要です。

4. ホストの義務

ホストは、合意された状態の本施設を、法令上必要な安全設備、基本サービスおよび滞在中の利用手段とともに提供します。自身の責任に属する問題は適用法令に従い合理的な期間内に対処します。滞在中の立入りは、同意または法的根拠がある場合に限られます。ただし緊急時は例外とします。

5. 損傷と安全

ゲストは自己または法的に責任を負う人が生じさせた損傷について責任を負う場合がありますが、通常の摩耗や以前からの欠陥は含まれません。請求する場合は、内容と証拠を示し、実際の修理費用と適用法令を考慮するものとします。本条により通常の清掃について一律料金が発生することはありません。

6. 取消し、中断、早期退去

取消し、返金、日程変更、不泊および早期退去には、適用法令と予約前に明示された条件が適用されます。本契約は自動的に返金不可の料金を設けず、放棄できない消費者の権利を奪いません。ゲストの責任なく本施設が著しく利用不能となった場合、当事者は法に沿った救済策を協議します。

7. チェックアウトと返却

ゲストは退去時に本施設を合理的に整頓し、私物を持ち帰り、鍵を返却し、残る損傷や危険を報告します。ホストは点検し、法定期間内に保証金を精算します。

8. 滞在の性質と完全な合意

本書は実際に一時的な滞在を想定しています。観光宿泊、居住用賃貸借その他の利用権のいずれに当たるかは、名称ではなく事実関係と適用法令によります。届出、宿泊税、安全、賃貸借、消費者保護に関する強行規定が優先されます。記入済みの「詳細」と添付資料は本契約の一部です。

詳細

保証金 _____

清掃料金 _____

ハウスルール _____

当事者

ホスト

氏名 _____

会社名 _____

住所 _____

メールアドレス _____

電話番号 _____

署名 日付

ゲスト

氏名 _____

メールアドレス _____

電話番号 _____

住所 _____

生年月日 _____

本人確認書類の種類 _____

本人確認書類の番号 _____

署名 日付